

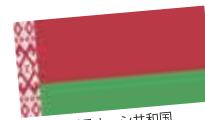


しばた議会だより



(槻木小学校)

世界のトップアスリートと



ベラルーシ共和国

■9月会議

- 柴田小学校に任期付き職員・補正予算・人事案件・契約案件…………… 2～3
- 平成28年度決算 「安全安心なまちづくり」を加速! …………… 4～7
- 総括質疑(4人) …………… 8～9
- みんなの税金 使い方をチェック! 決算審査特別委員会…………… 10～12
- 本会議出欠状況・議案などの審査結果・議会の動き …………… 13
- ここが聞きたい 16人の議員が一般質問 …………… 14～22
- 常任委員会レポート …………… 23
- 議会と話そう! 中間報告 …………… 24～25
- 進む! 議会改革 …………… 26～27
- あなたの一言(山木 やまき 里美さん) …………… 28

柴田小学校に任期付教職員配置へ

1人1人きめ細やかな指導を

9月会議

9月会議が、9月4日から14日までの日程で開催されました。人事案件2件、柴田町少人数学級編制の実施に係る任期付教職員の採用等に関する条例、柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼排水区5号調整池整備工事請負変更契約、補正予算などが提案され、審議の結果いずれも原案のとおり可決、同意しました。一般質問は、9月4日から6日までの3日間行われ、16人の議員が質問し、項目は35件でした。

任期付教職員の採用で複式学級回避へ

柴田小学校では、今後、複数の複式学級が見込まれるため、町費負担の教職員を配置し、1学年1学級を維持する。

質疑 任期付教職員を配置するに至った理由は。

者の意見も聞かなければならない。

にならないよう、努力していく。

答弁 柴田小学校は少数の学校であるが、きめ細かい教育が行われており、デメリットといわれる部分が生じていないため。

学校の存続につながる複式学級については総合的に考える必要がある。統廃合については将来的には保護者、学校、教育委員会を考えていきたい。直接的な学校の役割として地域のコミュニティの拠点という役割がある。できる限り、複式学級

質疑 任期付教職員の人数は。

育委員会で考えていきたい。直接的な学校の役割として地域のコミュニティの拠点という役割がある。できる限り、複式学級

答弁 年間約600万円台になると想定している。

育委員会で考えていきたい。直接的な学校の役割として地域のコミュニティの拠点という役割がある。できる限り、複式学級

質疑 柴田小学校の今後のあり方は。

育委員会で考えていきたい。直接的な学校の役割として地域のコミュニティの拠点という役割がある。できる限り、複式学級

答弁 第一に、子どもたちのことを優先的に考える必要があること。保護

育委員会で考えていきたい。直接的な学校の役割として地域のコミュニティの拠点という役割がある。できる限り、複式学級



一般会計補正予算質疑

冠水被害軽減へ

質疑 雨水対策調査委託料の内容は。

答弁 槻木下町地区の低地部の冠水被害をポンプ排水によって、解消するため。また、下名生剣塚地区の床上、床下浸水の被害を解消するための調査委託である。

どんな遊具？

質疑 公園遊具の更新工事と設置場所は。

答弁 槻木駅西1号公園にターザンロープ1基、葛岡山公園に幼児用遊具、スプリング遊具を2基、滑り台つきの複合的な遊具1基を設置する。

放送設備改修へ

質疑 船迫小学校非常放送設備改修工事の内容は。

答弁 校舎の増築により放送システムをつなぐリレーが故障していたため、一斉放送ができるように改修する。

通学路を安全に

質疑 町道船岡中央16号線の横断防止柵の新設改良工事の内容は。

答弁 通学路に横断防止柵をつくるもの。

待機児童対策は

質疑 小規模保育整備事業費補助の説明を。

答弁 船岡久根添地内に新設予定の施設に係る補助金。

平成29年度
9 月
会 議

鷺沼排水区5号調整池 追加工事へ

追加額 **9,363万円** 総額約 **14億円**



完成イメージ図

来年3月完成を目指す

くい打ちを施工した際に発生する掘削土砂が、想定した土質状況と一部異なることが判明した。仮設工法の見直し、調整池躯体を支えるための地盤改良工の増工及びアンカー工の追加施工が必要となった。

質疑 工事の変更内容は。

答弁 掘削した土砂が砂

質性のため、支持力・粘着力が得られないので、

調整池を支える地盤改良

工事が追加となった。

質疑 今後、町として具体的な調査は。

答弁 町として地質業者、

ボーリング業者と適正な

数や場所の打ち合せをし、構造物に合わせボーリング調査箇所を選択する。

質疑 2万7千立方メートルの貯留量による不等沈下は。

答弁 岩盤層に届く杭を

打ち込むため、不等沈下

はない。

質疑 完成はいつなのか。

答弁 平成30年3月の完成を目指している。

平成 29 年度補正予算 (9 月会議)

会計区分	補正額	補正後の額	
一般会計	2億9,711万円	116億8,121万円	
特別会計	国民会計保険事業	1億1,210万円	48億4,038万円
	公共下水道事業	▲2,521万円	15億3,126万円
	介護保険	▲2,573万円	29億6,077万円
	後期高齢者医療	▲1,825万円	3億8,294万円

主 な 事 業	
小規模保育整備事業費補助	5,378万円
雨水対策調査委託料(槻木下町・下名生剣塚地区)	680万円
東京オリ・パラ応援サポート・人材育成事業	275万円
公園施設整備工事及び公園遊具更新工事	4,843万円
教育管理費工事請負費(船迫小学校非常放送設備改修工事など)	1,371万円

人事案件

○人権擁護委員の推薦に同意

高木 年雄氏(新任) 西船迫3丁目

○教育委員会委員の任命に同意

日下 輝美氏(再任) 船岡土手内1丁目

いよいよご当地ナンバーへ

質疑 ご当地ナンバープレートの交付時期は。
答弁 年度内交付を予定している。

イノシン対策

質疑 西住小学校のフェンス設置工事は。
答弁 校庭東側のチャレンジパークにイノシン侵入防止用ネットを設置する。

「くり」を加速!

雨水対策など

前年度比
11.38%減

認定
一般会計の歳出決算
125億435万円

28年度決算

柴田町まち・ひと・しごと
創生総合戦略の推進

平成28年度の一般会計、各種特別会計及び水道事業会計の決算では、4人の総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を設置し、詳細にわたり審議した結果、全ての会計を全会一致で認定しました。

平成28年度決算は、一般会計歳出総額が125億435万円となりました。また、財政調整基金及び町債等管理基金は過去最大を更新し、16億8千94万円となり、さらに特定目的基金にも積み増しすることができました。主な事業では、柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進によるインバウンド政策やフットパス構想の推進などを実施しました。また、建設事業の町道富沢16号線道路改良事業のほか、水害対策として槻木五間堀川河川改修や槻木地区雨水対策工事を実施しました。

特定目的基金

	積み増し額	28年度末残高
スポーツ振興基金	1億 81万円	3億 1,552万円
図書館建設基金	4,969万円	2億 31万円
学校給食センター建設等整備基金	1,006万円	1億 1,007万円

財政指標〈健全化判断比率〉

町長から報告された健全化判断比率を紹介します

○実質公債費比率

26年度 7.5%
27年度 5.5%
28年度 3.7%

早期健全化基準 25.0%

※数値が小さいほど固定経費、借金の支払いが小さく、財政負担が少なくなります。

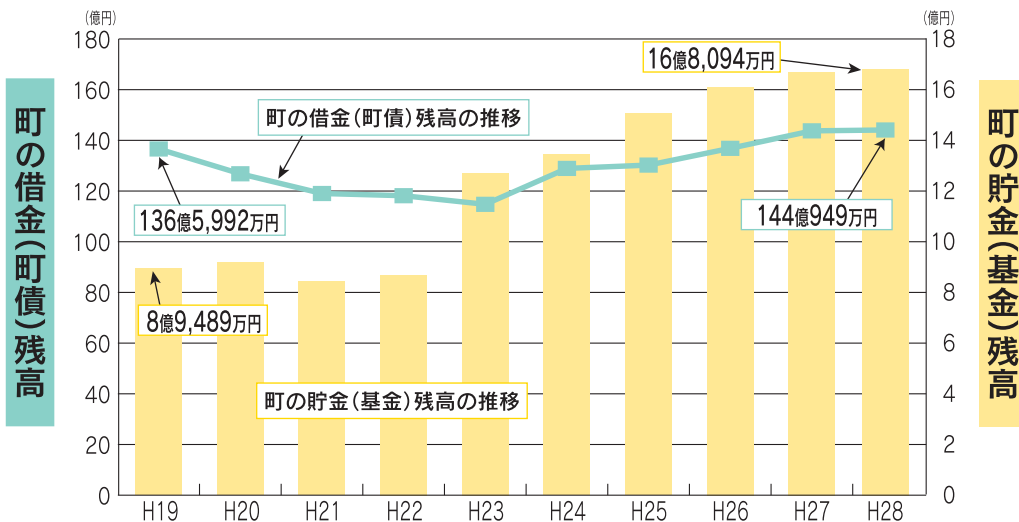
○将来負担比率

26年度 62.0%
27年度 69.5%
28年度 46.0%

早期健全化基準 350%

※数値が少ないほど将来の負担が少なくなります。(借金の支払いなどが減っていく)

町の借金と貯金残高の推移

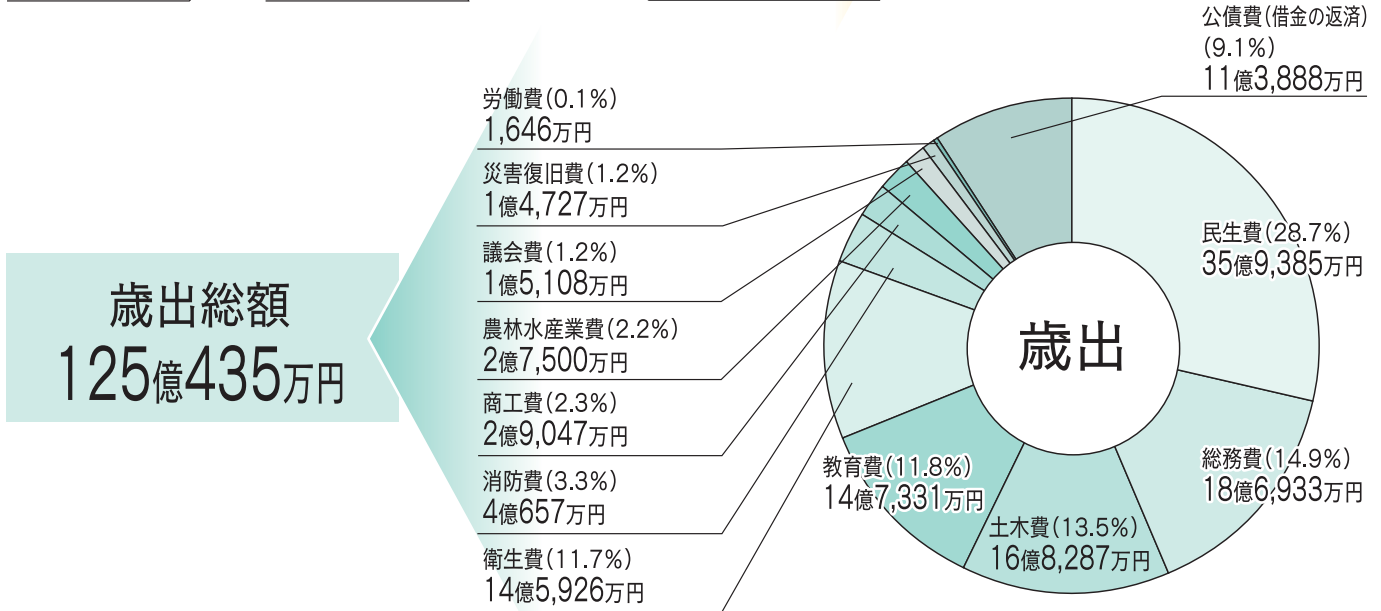
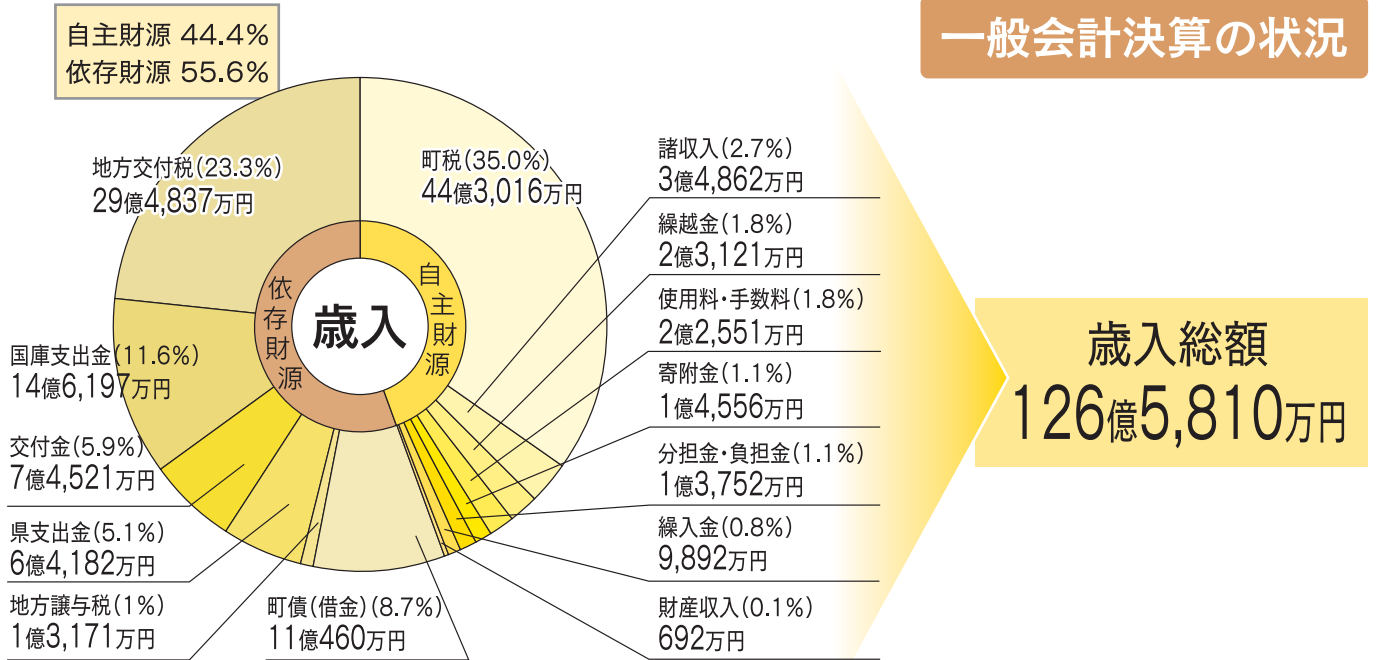


平成28年度
決算

「安全安心なまちづ

地方創生事業の推進、道路整備、

一般会計決算の状況



監査意見書

代表監査員 大宮 正博
監査員 桜場 政行

平成28年度一般会計及び各種特別会計の決算審査の結果、いずれも正確である。関係基金の運用状況も適正に運用されている。

なお、次の2点について留意が必要である。

(1) 基金の運用は、効率的に
財政調整基金などの資金は、一元管理と基金の一括運用など、安全かつ効率的な運用の情報収集し、最適な運用に対応できる準備を整えること。

(2) 施設の建設は、将来負担額に配慮を
限りある財源を最大限有効に活用し、安心・安全な住民生活の確保に向けた施策を展開するとともに、今後計画している施設の建設は、町民サービスに支障が出ないよう、将来負担額に十分に配慮すること。

も の

平成 28 年度決算は、9 月会議の決算審査特別委員会で審議し、認定しました。その中で議会が注目した事業を紹介します。



竹林の音楽会（上川名地区）

地域資源を活用した小さな拠点整備事業

2,219万1千円

・フットパス活動事業、どぶろく製造所新築工事など

自然休養村事業

5,150万7千円

・太陽の村遊具設置など



幼児遊具



ふわふわドーム

太陽の村リノベーション事業

4,000万円

・「石窯ピザと牛タンの店」の
開設事業支援など



防犯対策推進事業

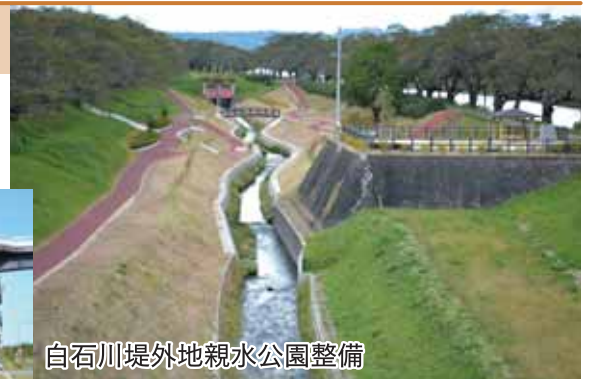
3,016万5千円

・防犯灯 LED 光源導入など
(船岡小、東船岡小学区他)

平成28年度 事業の主な

市街地整備関連事業

1億3,136万7千円



仙南地域広域行政事務組合 負担金事業

4,769万8千円

- ・広域的な消防やごみ処理、えずこホールなどの管理運営負担金

一般町道維持管理費

1億2,968万4千円

- ・町道四日市場 12号線工事など



雨水対策事業

9,311万9千円

- ・船岡字大住地区の排水ポンプ新設工事など

総 括 質 疑

4人の議員が町政全般にわたって質疑を行いました

総 括 質 疑



秋本好則 議員

問 地方債残高は過去の水準まで悪化したのでは

(1) 財政再建時の18年度の地方債残高は146億9千万円だった。28年度では144億5千万円度ほぼ同額になるのでは。非常事態宣言を出すのか。

(2) 財政再建前の町長給与は93万円、職員は32万4千600円。27年度は町長は90万4千円で97割に戻ったが職員は30万600円で92・6割。評価はどうか

(3) 柴田町の地方債残高の28割は臨時財政対策債で、この対策債は過去の債務償還のために新規発行する仕組みになっている。危うさを感じる53の自治体は起債をしていない。本町の考えは。

町長

地方債が増えたのは町営住宅建設や学校施設改修のため

(1) 町債残高の増加は、町営住宅や榎木小・中学校の改修工事があったため。財政健全化判断基準値は大幅に改善している。

(2) 財政再建の緊急対策として、職員は2年間特別職は3年間給与カットを行った。給与削減では給与条例を改正せず、特例条例を作って実施した。14年度と27年度との比較は財政再建プランとの関わりでは筋違い。職員の給料表は国の給与構造改革に基づくもの。

(3) 臨時財政対策債は住民サービスを提供していく上で必要不可欠な一般財源と考えている。

総 括 質 疑



佐々木裕子 議員

問

滞納額縮減に仙南地域広域行政事務組合はどう関わったのか

(1) 歳入の根幹をなす町税は、監査委員報告では収納率が94・7割と10年間で最高の記録とあった。

税の公平負担原則から滞納額の縮減に取り組んでいるが、仙南地域広域行政事務組合はどのような関わりを持ったのか。

(2) 監査報告を受け、どのように捉えているのか。また、未収金発生の防止及び早期回収並びに不納欠損の適切な処理に努めることとあるが、未収金発生防止対策を伺う。

(3) 水道事業会計で老朽管や配水施設の維持管理、休止施設の解体撤去が課題とあるが町の考えは。

町長

専門知識を要する滞納処分や各市町の困難事例の相談などに対応

(1) 仙南地域広域事務組合滞納整理課は2市7町が共同で、専門知識を要する滞納処分を行うため設立。困難事例の滞納整理事務ほか、滞納整理指導員を配置し、各市町の困難事例や、職員の相談などにも対応し、職員的能力向上も行っている。

(2) 収納強化策が評価された。今後も滞納整理を進め更に向上を図る。未収金の発生防止や早期回収に向け、税や使用料の債権管理の徹底と収納状況の把握に取り組む。

(3) 山田沢浄水場及び、旧雨乞配水池等5施設がある。35年度をめどに解体予定となっている。



総括質疑

問 基金の積み立て
について

(1) 財政調整基金は、過去最大を更新した。景気の波に左右されない積み立てと基金活用計画が重要。現年度と将来財政をどう考えているのか。

(2) 町税の収入額前年比3・4割増、今後の収納率向上と維持に向けてどうするのか。納税組合の維持は。

(3) 自分の健康は自分で守るという意識と健康づくりの中で、国保加入者の特定健康診査受診率と県内の順位は。

(4) 農業水利などの草刈は、高齢化が進み難しくなる時が近いと危惧する。水路の保全や組織の体制を町はどう判断するか。



水戸義裕 議員

町長 将来への
財政健全化に備える

(1) 財政調整基金は、現在10億円以上を目安に保持。大型の事業には、特定目的基金を積み増した中で実施し、将来への財政健全化に向け備えたい。

(2) 28年度はコンビ二収納を始めた。その結果期限内納付が促進され、町県民税は7・4割増に。口座振替納付の推進と納税組合への加入促進で、納税しやすき環境づくりを進める。

(3) 県の平均受診率は、27年で36・4割と上昇し、県内順位は33位。

(4) 町内13カ所の資源保全隊が農業用水などの維持管理をしている。災害対策も含めて、今後も資源保全隊への支援を行う。

総括質疑

問 交流人口増から
関係人口増へ

本町では、花の時期に観光客を増やすことに力を注いでいる。交流人口の増加がにぎわい創出につながるのと考えからだが、観光客はいくら増やしても一過性に過ぎない。多くの方が素通りしていくだけである。

そこで、本町を応援してくれる「関係人口」を増やす方策を検討すべき。各分野の専門家に町の事業を応援していただく、イベントを支援してくれる町外の方を募る、町の特産物を毎月購入してくれる方を募るなど、柴田町の応援団を全国に広めてはいいかがか。

町長 つながり人口・関係人口を
増やしたい

本町では、「花のまち柴田」を切り口に、交流人口の拡大で、新たな人の流れや仕事起こしにつなげ、移住・定住に結びつける取り組みを進めてきた。

また、ふるさと納税では、全国から数多くの励ましの言葉をいただいている。インバウンドやシテイプロモーションの展開によって、ベンチャー企業等の専門家、町おこしやスポーツ・文化行事に、新たな人材とのつながりが増えている。今後も「花のまち柴田」のブランド化とフットパス構想の実現を柱に、つながり人口・関係人口をさらに増やしていく。



白内恵美子 議員

決算審査特別委員会

みんなの

税金

使い方を

チェック!

歳入

財政課

地方交付税が減らされる？

質疑 地方自治体が持っている基金残高が多いと、余裕があるとみなして地方交付税を削つてもいいのでは、との意見が国の経済財政諮問会議で出ている。

答弁 基金の額がこれまでは少なすぎた。東日本大震災からの復旧・復興に9億6千万円かかっている。いざという時のために、10億円以上の基金は必要であると考えている。

財政課

落札率が高いのでは

質疑 契約状況を見ると予定価格に対しての落札率が高いのでは。

答弁 近隣市町をみると高いほうではない。正当な競争が行われての結果である。

歳出

総務課

職員の健康診断受診は

質疑 女性職員の受診率が昨年より減っているのはなぜか。

質疑 非常勤職員の受診は。

答弁 受診の案内は例年どおり行っている。

答弁 町の健診などを受けている。

商工観光課

特産品の開発は

質疑 商工会女性部が開発した特産品は何か。また、販売ルートの確立はできたか。

答弁 「雨乞の極」を商品化した。会員の店、さくらの里で販売している。1個750円で1千個販売した。販売ルートを通じてさらに売上増を図っている。

く。高速道路のパーキングエリアにも置いてもらえるよう交渉している。

質疑 柴田特産品加工組合の加工・直売施設の実施計画の内容は。

答弁 ぜいたく味噌の加工場であるが、建物の老朽化また耐震性に問題があるなどの理由で、新築することになった。

さくらの里で販売している「雨乞の極」



現在のぜいたく味噌加工場

商工
観光課

太陽の村リノベーションの内容は

質疑 車内調理可能な移動販売車を購入しているが、太陽の村リノベーションとの関連は。またその成果は。

答弁 障がい者の自立を目指して仕事づくりに取り組んでいる「はらから福祉会」が、太陽の村の旧館食堂にピザ・牛タン

の店を開店した。来店数が減少する冬場の対策として移動販売を考えた。調理機能を備えた移動販売車や、障がい者の働く場の全国モデルとして示したい。



イベントで活躍している移動販売車

町民
環境課

空き家対策は進んでいるか

質疑 空き地・空き家などの台帳に基づいた再調査結果は。

答弁 空き家の傾斜の有無、屋根の状況などをリンク付けして現況を判断している。

商工
観光課

コミュニティプラザの利用は

質疑 町民に利用されているか。

質疑 利用者をどのように増やすのか。

答弁 山野草の会、フオークダンス愛好会、コーラスグループなどに利用されている。

答弁 仙台の川柳グループが、菊花展の帰りにコミュニティプラザを使って句会を開いている。このような利用の仕方も増やしたい。



利活用の推進を(船岡駅コミュニティプラザ)

子ども
家庭課

待機児童の現状は

質疑 待機児童は何人いるか。

答弁 28年当初は24人。29年の現在は70人になった。

質疑 今後の対策は。

答弁 小規模保育所が来年4月に1カ所開園する予定。さらに家庭的保育から小規模保育所に移行するところが1カ所ある。また槻木地区にも1カ所新設の動きがあるが、時期と規模は未定である。



元気に遊ぶ子どもたち

農政課

森林病害虫防除の対策は

質疑 ナラ枯れの被害状況は。また、対策は。
答弁 ナラ枯れは増えている。28年度は、いこいの森で17本、山崎山で23本、合計40本伐採した。

伐採後は薬剤をかけて燻蒸した。町有林に関しては、防除に努めて被害を最小限に食い止めている。



伐採されたナラの木

福祉課

心身障がい者支援の状況は

質疑 心身障がい者医療費の増えた要因は。
答弁 高齢になって、障害者手帳を申請する方が増えているため。
質疑 昨年よりレスパイト事業が173件増えているが、家族の負担が増えているのか。
答弁 レスパイト事業は障がい者の日中一時支援になるが、介護する側のリフレッシュのために利用されている。

教育課
総務課

スクールカウンセラーへの相談内容は

質疑 学校により相談数にばらつきがある。主な内容は。
答弁 小・中学生とも学校になじめないことや友人関係の相談が多い。保護者からは養育相談が多い。中学生になると登校の相談が増える。

都市建設課

放置自転車の状況は

質疑 駅の自転車駐車場に放置されていた自転車は何台あったか。
答弁 28年度は205台撤去した。
質疑 撤去した自転車はどうなるのか。
答弁 警察に所有者を照会し、不明なものは蔵王町のリサイクルセンターに運搬している。



どこにいく？ 放置自転車

生涯学習課

子ども会育成会の加入状況は

質疑 入会者が減っているが、学校ごとの状況は。
答弁 全体の加入率は82・7割になっている。
 船岡小学校区は64・9割、
 榎木小学校区は97・3割、
 柴田小学校区は95・9割、
 船迫小学校区は73・4割、
 西住小学校区は100割、
 東船岡小学校区97・4割
 になっている。



地区育成会の活動

スポーツ振興課

総合型地域スポーツクラブの位置づけは

質疑 町のスポーツ行政の中で、総合型地域スポーツクラブの実状は。
答弁 自ら参加費を払って、スポーツに励むことを目的に行っている。子どもたちを中心とした新しい教室や、町で行って
 いた教室を引き継いだ事業もある。今年度は8月末現在、個人会員数76人、ファミリー会員5世帯と増えている。会員は順次増えている。

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●平成29年度9月会議の出欠状況一覧

区分	主な内容	月日	出席者数 △	出欠状況																
				森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	齋藤 義勝	平間 奈緒美	佐々木 裕子	安部 俊三	森 淑子	広沢 真	有賀 光子	舟山 彰	白内 恵美子	水戸 義裕
本会議	町政報告、一般質問	9.4	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.5	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問、人事案件	9.6	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例、契約案件、補正予算	9.7	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度各種決算上程・総括質疑	9.8	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査 特別委員会	正副委員長の互選等	9.8	16	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度決算認定審議	9.11	16	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度決算認定審議	9.12	16	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度決算認定審議	9.13	16	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本会議	平成28年度決算認定採決	9.14	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。
 ※議長は決算審査特別委員にはならない。
 ※「監」は監査委員として出席。

●平成29年度9月会議議案などの審議結果

件名	議決月日	賛成 △	賛成 △	議決結果	表決状況																
					森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	齋藤 義勝	平間 奈緒美	佐々木 裕子	安部 俊三	森 淑子	広沢 真	有賀 光子	舟山 彰	白内 恵美子	水戸 義裕
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9.6	17	17	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
教育委員会委員の任命について	9.6	17	17	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
柴田町少人数学級編制の実施に係る任期付教職員の採用等に関する条例	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼排水区5号調整池整備工事請負変更契約について	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町一般会計補正予算	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町介護保険特別会計補正予算	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町水道事業会計補正予算	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について	9.14	17	17	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9.14	17	17	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9.14	17	17	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9.14	17	17	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9.14	17	17	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	9.14	17	17	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	9.14	17	17	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。
 ※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

平成29年度 柴田町議会予定表 (10月19日現在)

11月	10月31日～ 11月2日	文教厚生常任委員会行政視察	11月	28日	議会運営委員会	1月	4日	議会広報常任委員会
	7日	議会広報研究会 (県)	12月	4～8日	12月会議		18日	議会広報常任委員会
	10日	議員全員協議会		25～27日	議会広報常任委員会		19日	議員講座 (県)
	8～9日	総務常任委員会					15～17日、25日	文教厚生常任委員会